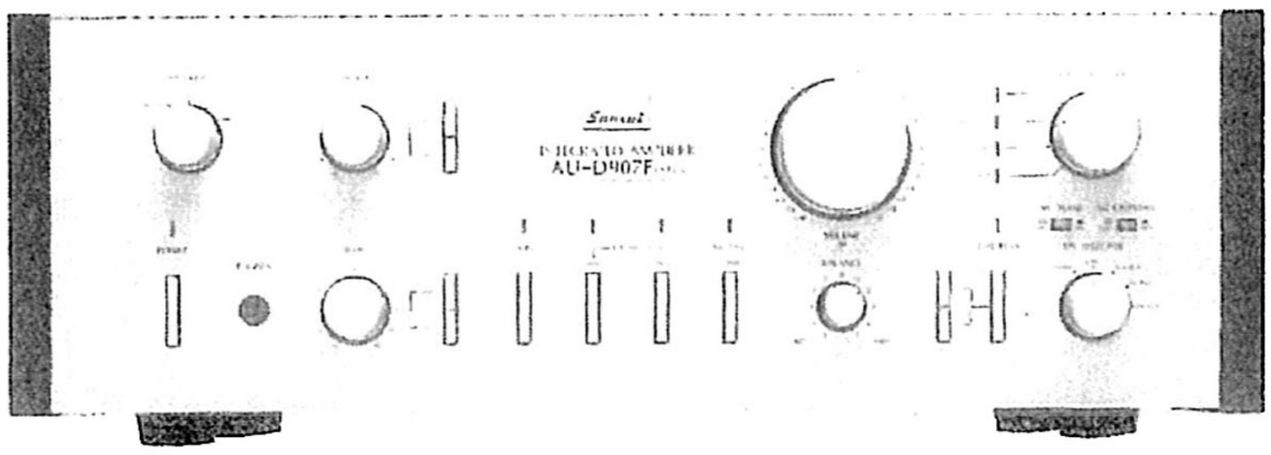
SERVICE MANUAL

INTEGRATED AMPLIFIER

SANSUI AU-D907F EXTRA

(Silver & Black Model)



Sansui

SANSUI ELECTRIC CO., LTD.

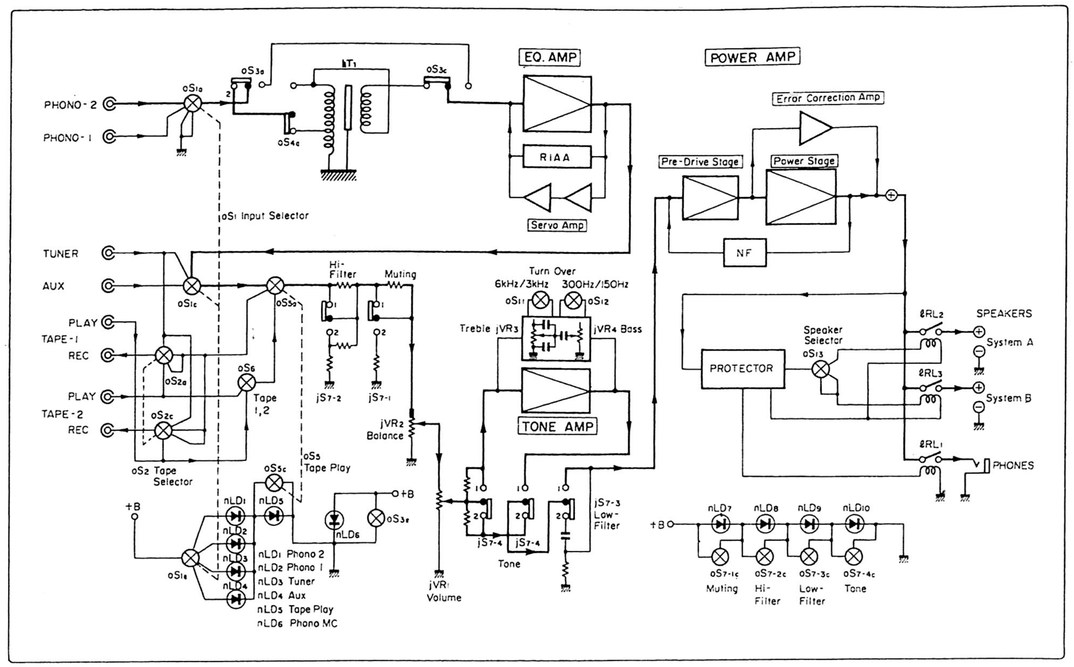
●規格

実効出力(1,000Hz, 全高調波歪率0.002%)
　両チャンネル同時動作……130W＋130W(8Ω)
帯域実効出力(10Hz～20kHz, 全高調波歪率0.003%)
　両チャンネル同時動作……130W＋130W(8Ω)
全高調波歪率(10Hz～20kHz)
　実効出力時……0.003%以下(8Ω)
混変調歪率(60Hz：7,000Hz＝4：1SMPTE法)
　実効出力時……0.003%以下(8Ω)
出力帯域幅(IHF, 全高調波歪率0.02%)
　両チャンネル同時動作……5Hz～80kHz(8Ω)
ダンピングファクター(新IHF)
　20Hz～20kHz ……100(8Ω)
残留雑音……0.3mV(8Ω)
エンベロープひずみ……0.001%以下(8Ω)
TIMひずみ(Sawtooth法)……0.001%以下(8Ω, LPF, 100kHz)
スルーレイト……±250V/μsec(8Ω)
ライズタイム……0.5μsec
入力感度／入力インピーダンス(1,000Hz)
　PHONO-1, 2(MC) ……70μV/3.2Ω(LOW)
　　250μV/40Ω(HIGH)
　PHONO-1, 2(MM) ……2.5mV/47kΩ
　TUNER, AUX ……250mV/27kΩ
　TAPE, PLAY-1, 2 ……250mV/27kΩ
最大許容入力(1,000Hz, 全高調波歪率0.01%)
　PHONO-1, 2(MC) ……25mV
　PHONO-1, 2(MM) ……200mV
出力電圧／出力インピーダンス(1,000Hz)
　TAPE REC-1, 2 ……250mV/600Ω以下
周波数特性
　PHONO-1, 2(MC)
　　(RIAA偏差)……20Hz～20kHz±0.2dB(REC OUT)
　PHONO-1, 2(MM)
　　(RIAA偏差)……20Hz～300kHz±0.2dB(REC OUT)
　TUNER, AUX ……DC～300kHz $^{+0}_{-3}$dB
　TAPE PLAY-1, 2 ……DC～300kHz $^{+0}_{-3}$dB
SN比(Aネットワーク)
　PHONO-1(MC) ……75dB以上
　PHONO-1, 2(MM) ……90dB以上
　TUNER, AUX ……110dB以上
　TAPE PLAY-1, 2 ……110dB以上
チャンネルセパレーション(1,000Hz)
　PHONO-1, 2(MM) ……50dB以上
　PHONO-1, 2(MM) ……60dB以上
　TUNER AUX ……80dB以上
　TAPE PLAY-1, 2 ……80dB以上
トーンコントロール
　BASS最大変化量……＋10dB, －10dB(50Hz)
　　(ターンオーバー周波数：300Hz, 150Hz)
　TREBLE最大変化量……＋10dB, －10dB(10kHz)
　　(ターンオーバー周波数：6kHz, 3kHz)
フィルター
　16Hz ……16Hz(－3dB)6dB/oct.
　20Hz ……20kHz(－3dB)6dB/oct.
オーディオミューティング……－20dB
負荷インピーダンス……4～16Ω
定格電圧……100V
定格周波数……50Hz/60Hz
定格消費電力(電気用品取締法)……320W
寸法　幅460mm×高さ160mm×奥行444mm
重量　本体のみ……17.7kg

※改良のため，予告なく意匠，仕様の一部を変更することがあります．

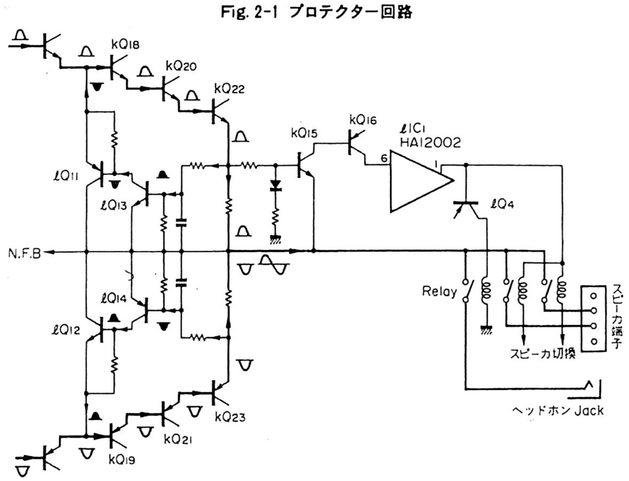
www.hifiengine.com

ブロック・ダイアグラム



2. プロテクター回路の動作

Fig. 2-1 プロテクター回路



AU-D607F, AU-D707F, AU-D907FのEXTRAシリーズのプロテクターは，過負荷時リレーにより出力を開閉する回路と，パワーアンプの電流を制限する方法を併用しています．電流制限回路はパワートランジスタが，4Ω負荷時の出力ショート等でASOを越えてコレクタ電流が流れ破壊するのを防ぎます．従って電流制限回路の動作点は4Ωの最大出力時のコレクタ電流を越え，ASOより少し低い位の電流の時に動作するよう設定されています．(AU-D607FE/AU-D707FEで約15A, AU-D907FEで約17～18A)

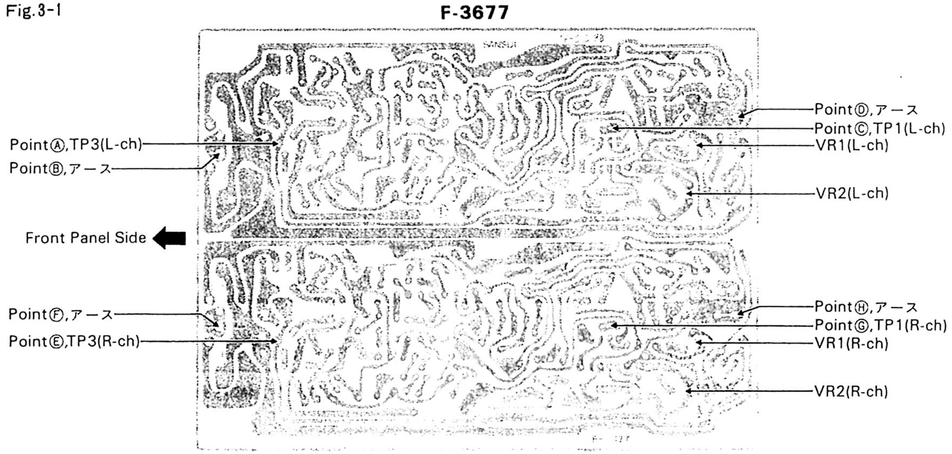
動作は，Fig.2-1のようにパワートランジスタのエミッタより取り出した電圧によりℓQ11～14を動作させ，ドライバーアンプのkQ18, 19を電流が流れない方向で制限しています．

3. 調整方法

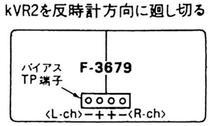
3-1. F-3677 EQ.アンプ基板調整 (Fig. 3-1参照)

ステップ	項　目	接　続　方　法	調整箇所	調　整	備　考
1	センターDC 0V (L-ch)	Point Ⓐ(TP3)とPoint Ⓑ(アース)間にDC電圧計を接続する	iVR1(L-ch), F-3677	DC 0V	Point Ⓒ(TP1)とPoint Ⓓ(TP2/アース)間をショートする
2	センターDC 0V (R-ch)	Point Ⓔ(TP3)とPoint Ⓕ(アース)間にDC電圧計を接続する	iVR1(R-ch), F-3677	DC 0V	Point Ⓖ(TP1)とPoint Ⓗ(TP2/アース)間をショートする
3	オフセット電圧調整 (サーボアンプ), L-ch	Point Ⓐ(TP3)とPoint Ⓑ(アース)間にDC電圧計を接続する	iVR2(L-ch), F-3677	DC 0V	
4	オフセット電圧調整 (サーボアンプ), R-ch	Point Ⓔ(TP3)とPoint Ⓕ(アース)間にDC電圧計を接続する	iVR2(R-ch), F-3677	DC 0V	

Fig.3-1



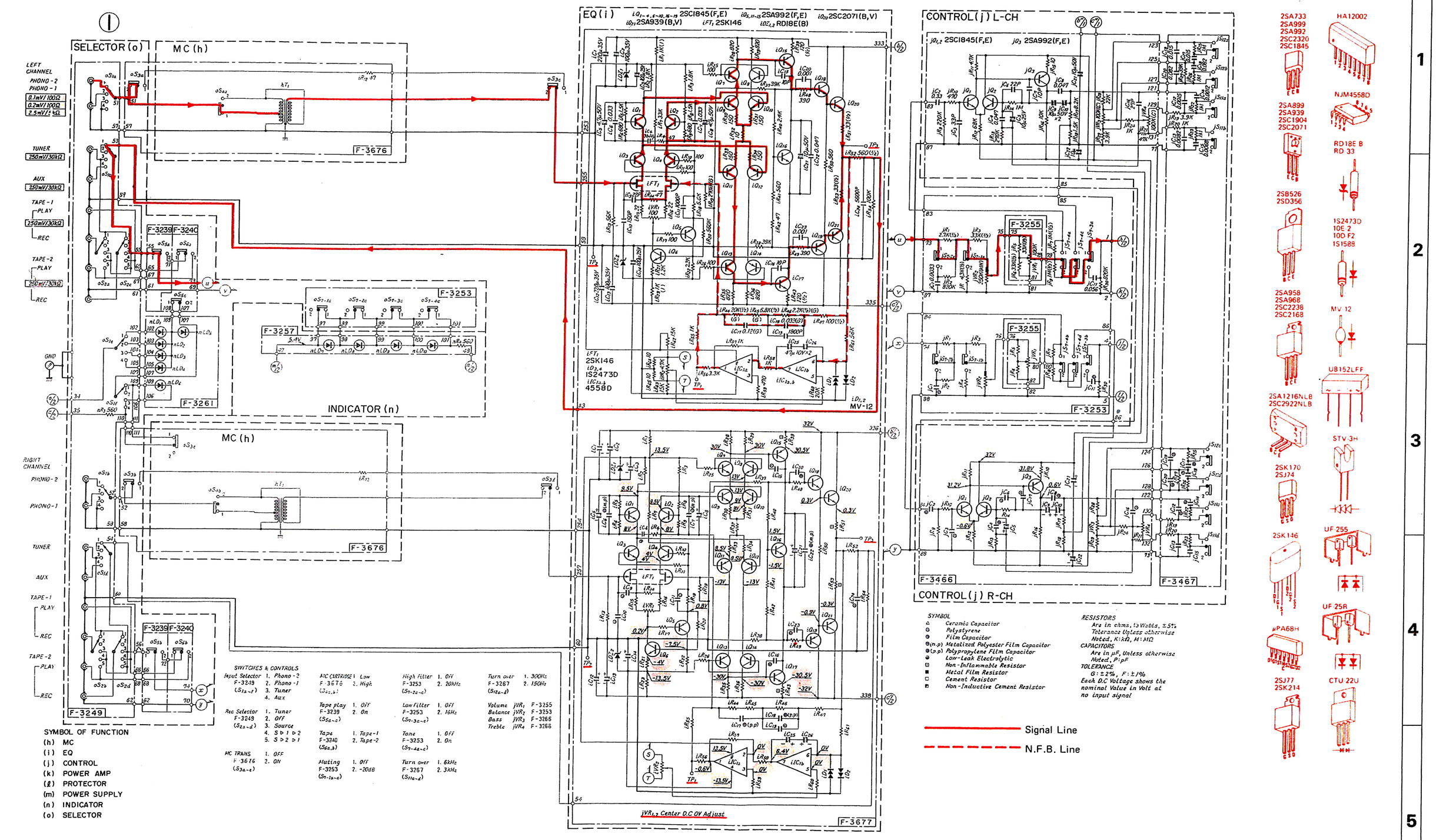
3-2. F-3678, F-3679 パワーアンプ基板調整 (8ページ上面部写真参照)

ステップ	項　目	接　続　方　法	調整箇所	調　整	備　考
1	センターDC 0V調整 (L-ch)	スピーカー端子 (L-ch) にDC電圧計を接続する	kVR1(L-ch), F-3678	DC 0V	電源を入れる前にkVR1を機械的センターにする
2	センターDC 0V調整 (R-ch)	スピーカー端子 (R-ch) にDC電圧計を接続する	kVR1(R-ch), F-3678	DC 0V	
3	バイアス電流調整 (L-ch)	F-3679上のバイアスTP端子(L-ch)にDC電圧計を接続する	kVR2(L-ch), F-3679	10mV	電源を入れる前にバイアス電流が最少になるように，kVR2を反時計方向に廻し切る
4	バイアス電流調整 (R-ch)	F-3679上のバイアスTP端子(R-ch)にDC電圧計を接続する	kVR2(R-ch), F-3679	10mV	

www.hifiengine.com

6. 回路図 6-1. イコライザー, トーンコントロール部

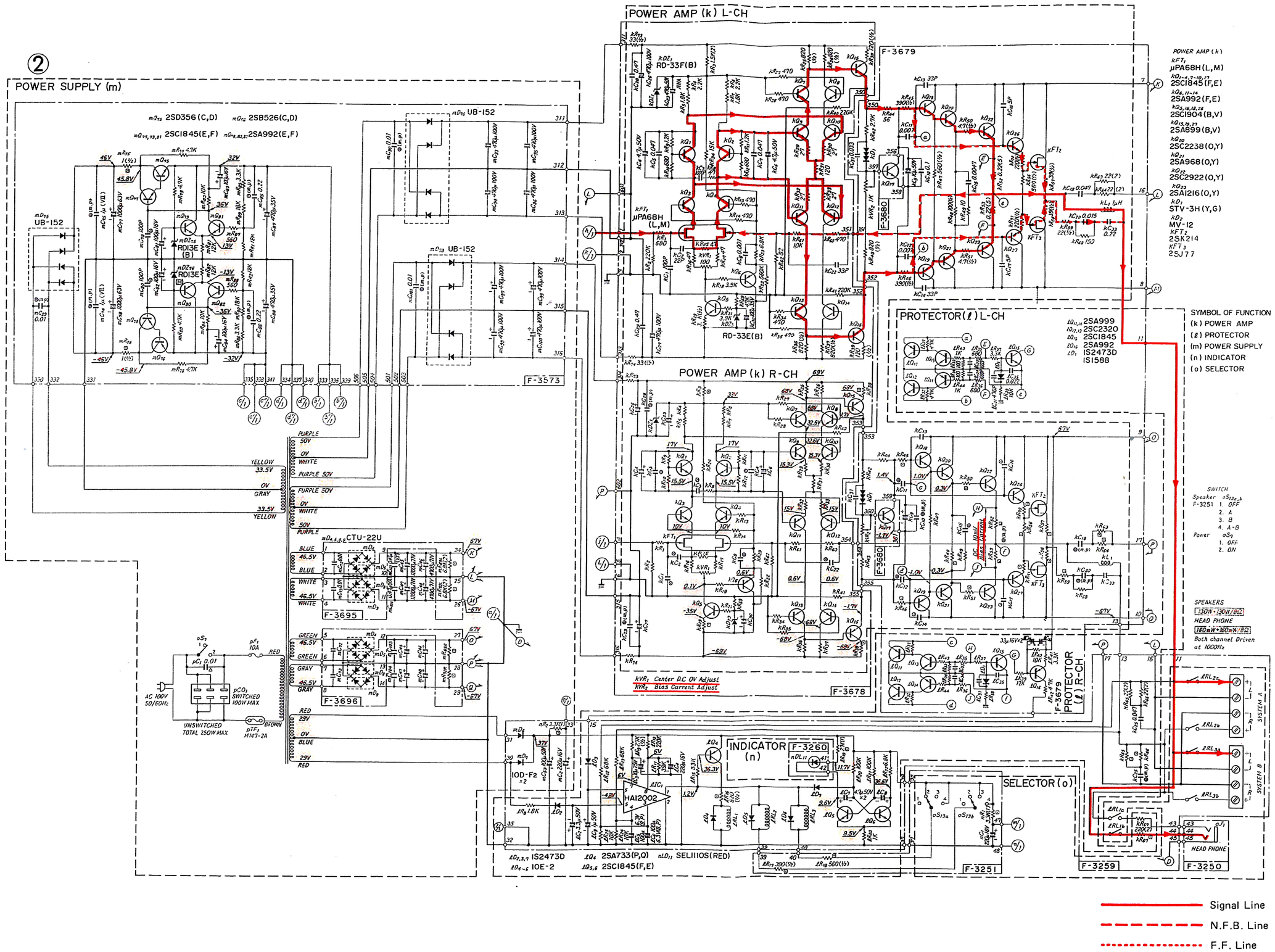
※改良のため，予告なく意匠，仕様の一部を変更することがあります．

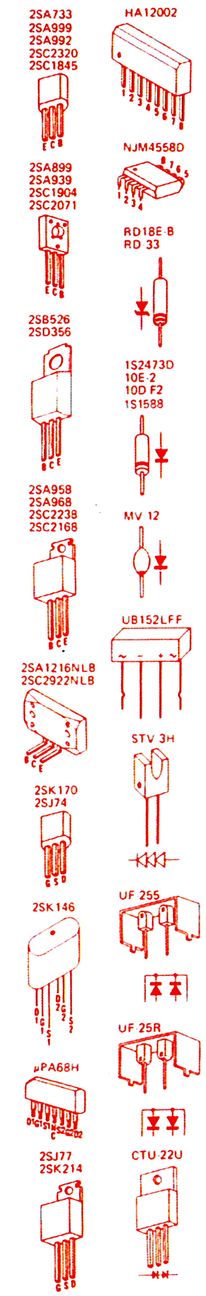


A B C D E F G H

6-2. パワーアンプ, 電源部

※改良のため，予告なく意匠，仕様の一部を変更することがあります．

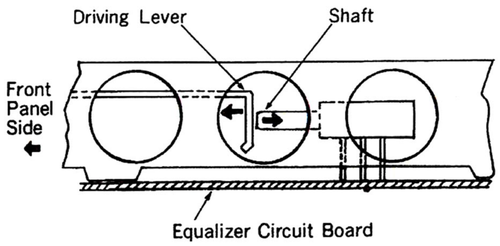




1 2 3 4 5

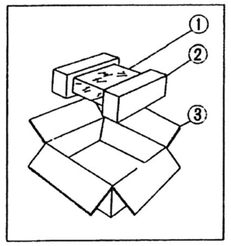
7. MC基板取付け時の注意

1) 基板に取付けられているMC HEAD AMPスイッチとMC CARTRIGEスイッチのシャフトを，それぞれ押し込んでおく．
2) 基板をシャーシの取付け位置に合わせながら，前面パネルからの"2本の操作シャフト"をドライバー等で，フロントパネル側に押し付けておく．この状態で基板を取付け，金具に押え付けビス止めする．
3) 取付後前面のKnobを操作し，正常に動くかチェックする．



8. 梱包材

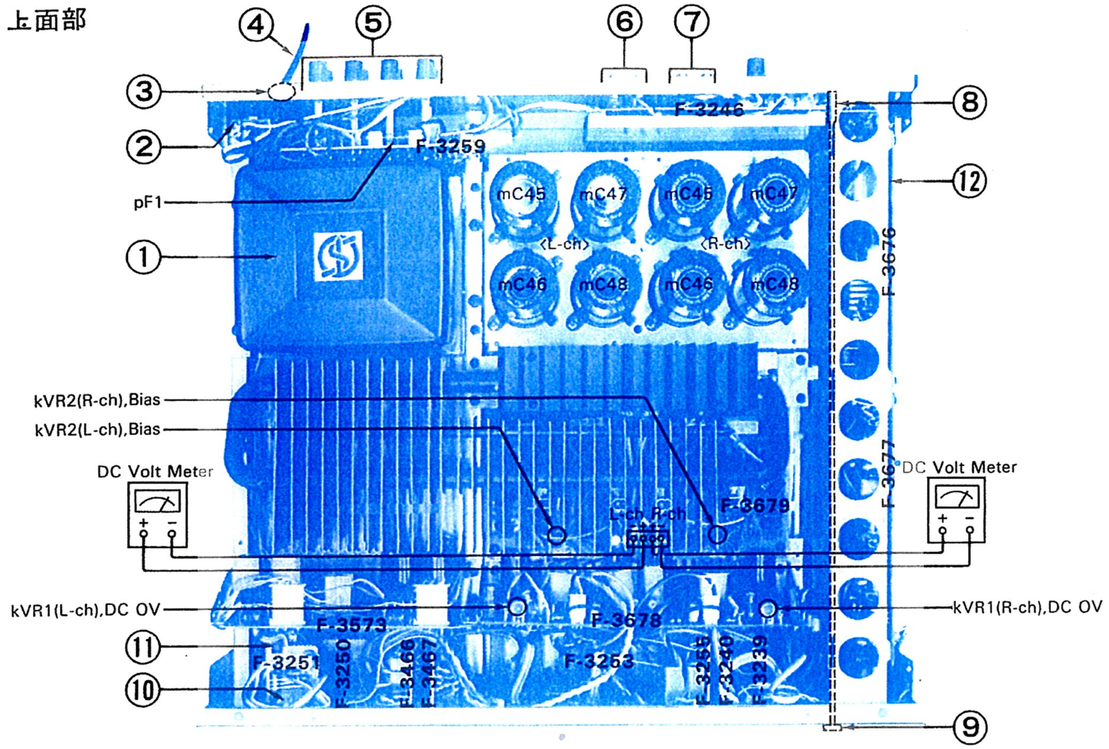
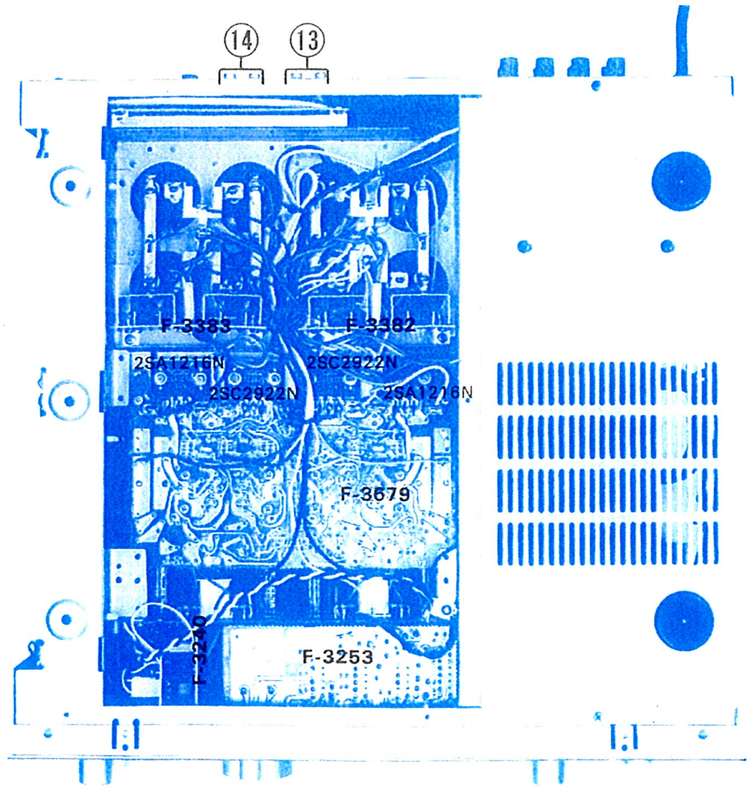
Parts No.	Stock No.	Description
1	91167710	Vinyl Cover
2	07843100	Strofoam Packing
3	07841800	Carton Case (Silver Model)
	07841900	Carton Case (Black Model)



9. 付属部品表

Stock No.	Description
46173500	Operating Instruction

-2. 上面部



-3. 下面部